

令和5年度 第1回 学校運営協議会

- 1 日 時 令和5年6月22日(木) 13:15 ~15:00
- 2 場 所 朝来市立大蔵小学校 多目的室、各教室
- 3 運営協議会委員 (敬称略)

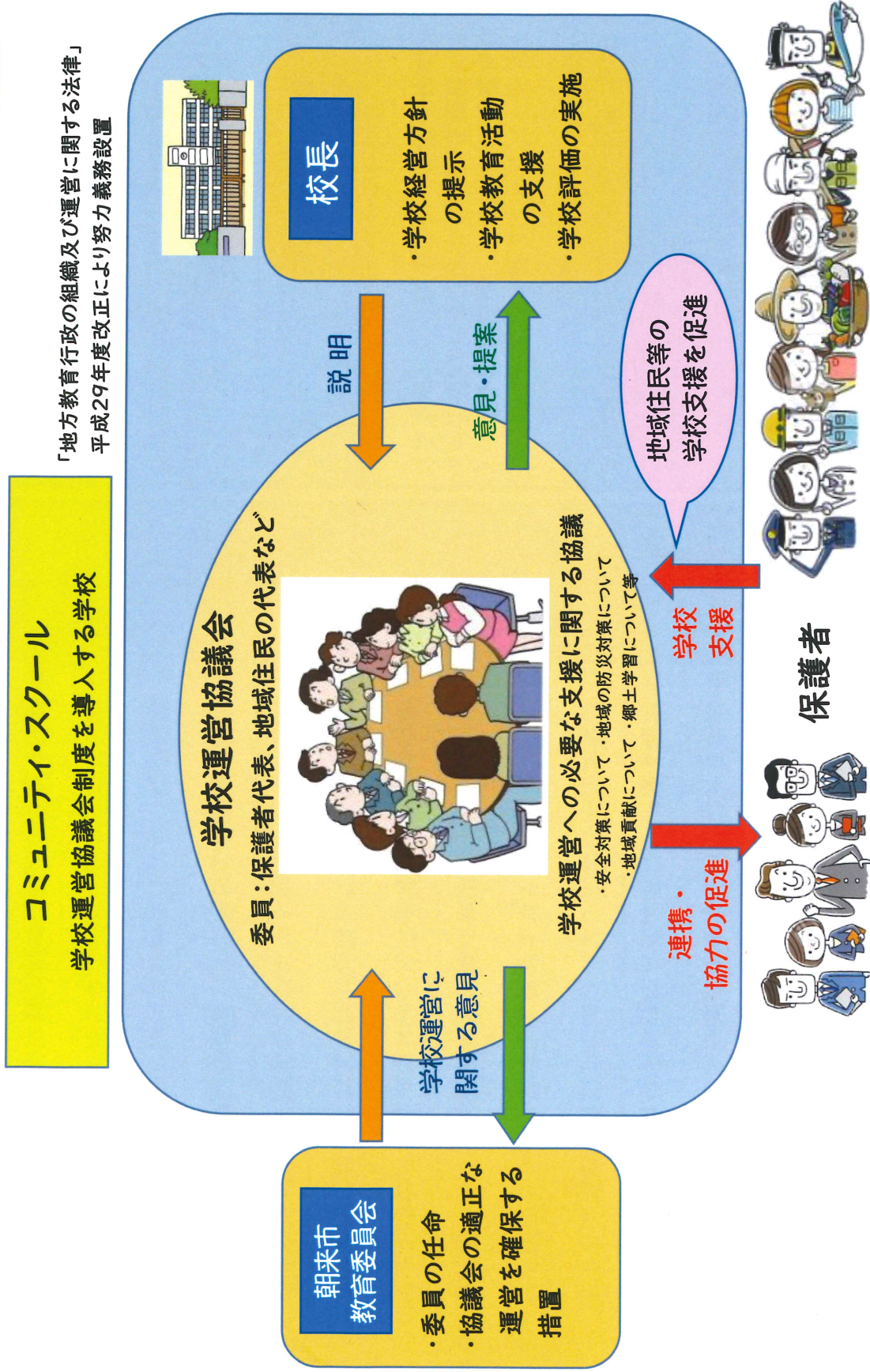
	氏 名	役 職 等	住 所
1	〇〇 〇〇	学識経験者 (教員・区長経験者)	〇〇〇〇〇
2	〇〇 〇〇	大蔵地域自治協議会会長	〇〇〇〇〇
3	〇〇 〇〇	大蔵地区 区長会長	〇〇〇〇〇
4	〇〇 〇〇	学校支援ボランティア	〇〇〇〇〇
5	〇〇 〇〇	民生児童委員代表	〇〇〇〇〇
6	〇〇 〇〇	地域学校連携活動推進員	〇〇〇〇〇
7	〇〇 〇〇	P T A会長	〇〇〇〇〇
8	〇〇 〇〇	P T A副会長	〇〇〇〇〇
9	〇〇 〇〇	校長	〇〇〇〇〇
10	〇〇 〇〇	教頭	〇〇〇〇〇
11	〇〇 〇〇	担当教職員	〇〇〇〇〇
12	〇〇 〇〇	事務職員	〇〇〇〇〇

4 日程 (時間はめやす)

- (1) 開会 (13:15)
- (2) 日程確認
- (3) 任命書交付
- (4) 自己紹介、会長・副会長選出及び承認
- (5) 授業参観 (13:35)
- (6) 協議 (14:10)
- ア 本年度の学校経営方針
- イ 本校の現状
- ウ 年間行事予定
- エ 意見交換
- (7) その他
- (8) 閉会 (15:00)

# 令和2年度から小・中学校に導入する学校運営協議会制度のしくみ

目的：学校運営への保護者、地域住民等の参画と協同を促進し、学校を応援し、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進める





# コミュニティ・スクールのメリット・魅力は何？

※コミュニティ・スクール導入のメリット  
(学校運営協議会制度)

## ①組織的・継続的な体制の構築 ＝持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまままで継続できる「**持続可能な仕組み**」です。

## ②当事者意識・役割分担 ＝地域総がかり

学校運営協議会や話し合いの場を通じて、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「**目標・ビジョンを共有**」ができます。

## ③目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「**基本方針**」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者全員が当事者意識を持ち「**役割分担**」をもって**連携・協働による取組**ができます。

※学校運営や学校課題に対し、広く**保護者や地域住民が参画**できる**仕組み**です。  
当事者として、子ども**の教育課題や目標を共有**することで、**学校を支援する取組が充実**すると共に、**関わる全ての人の様々な魅力が広がっていきます**。

魅 力	子 ど も	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの学びや体験活動が充実します。</li> <li>○ 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。</li> <li>○ 地域の担い手としての自覚が高まります。</li> <li>○ 防犯・防災等の対策によって安全・安心な生活ができます。</li> </ul>
	教 職 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域にも関心が向くようになり教職員の視野が広がります。</li> <li>○ 地域人材を活用した教育活動が充実します。</li> <li>○ 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。</li> </ul>
	保 護 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校や地域への理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。</li> <li>○ 地域の中で子どもたちが育てられるという安心感があります</li> <li>○ 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。</li> </ul>
	地 域 住 民	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。</li> <li>○ 学校を核にネットワークが形成され、地域の課題解決が可能。</li> <li>○ 学校が社会的つながりの中心となり、地域のよりどころとなります。</li> <li>○ 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。</li> </ul>

